

謹啓

時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます

当センターの運営につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当センターは、障害の予防とリハビリテーションに関するWHO指定研究協力センターとして国際協力事業に取り組んでおります。

この度、活動の一貫として、国際セミナー「高齢化社会とリハビリテーションー誰もが必要なリハビリテーションを受けられるようにするためにー」を開催する運びとなりました。

開催日程は、同封いたしました別添プログラムのとおりでございます。

関係各位のご参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

敬具

平成29年12月21日

国立障害者リハビリテーションセンター

総 長 飛 松 好 子

関 係 各 位

国際セミナー

「高齢化社会とリハビリテーション

－誰もが必要なリハビリテーションを受けられるようにするために－

1. 趣旨： 現在、世界では生活習慣病等の慢性疾患の増加や高齢化が進み、潜在的にリハビリテーションの必要性が高まっている一方で、リハビリテーションを必要とする人々全てがそのサービスを受けられてはいない状況にあるとWHOは述べています。このような状況のもと、WHOでは、各国の保健医療システムにおけるリハビリテーションの強化に向けた世界的取組みについて“WHOリハビリテーション 2030”会議等において検討を行っています。

本セミナーではアジア太平洋地域と日本において特に高齢化の側面からリハビリテーションがどのような取り組まれているのか、WHO、オーストラリア、カンボジア、日本から発表を行い、リハビリテーションを必要としている誰もがサービスを受けられるようにするための課題等について考えます。

2. 日 時：平成 30 年 2 月 18 日（日）13：30～17：00

3. 会 場：東京国際フォーラム ホール D7

<https://www.t-i-forum.co.jp/user/facilities/d7/>

4. 主 催：国立障害者リハビリテーションセンター

（障害の予防とリハビリテーションに関する WHO 指定研究協力センター）

5. 使用言語：日本語、英語（同時通訳付き）、要約筆記、手話通訳

6. 定 員：120 名

7. 参加費：無料

8. 申し込み：別紙参加申込書を FAX、メールまたは郵送でお送り下さい。

メールの場合は本文に必要事項を記載していただいても結構です。

申し込み締め切りは 2 月 5 日（月）です。

但し、会場が満席になり次第締め切らせていただきます。

9. 連 絡 先：事務局 国立障害者リハビリテーションセンター

企画課国際協力室 長根、白津、内出

TEL 04-2995-3100(内 2148、2149、2150)

FAX 04-2995-3661 E-mail whoclbc@rehab.go.jp

住所 359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1

プログラム

12:30~13:30 受付

(総合司会:堤 裕俊 国立障害者リハビリテーションセンター企画・情報部長)

13:30 開会挨拶 飛松好子 国立障害者リハビリテーションセンター総長

13:40~14:10 基調講演 「WHO Rehabilitation 2030」

Darryl Barrett

WHO 西太平洋地域事務局テクニカルリード

14:10~14:20 休憩

14:20~15:50 発表

1 「リハビリテーションと高齢者—オーストラリアの視点から—」

Ian Cameron

シドニー大学 ジョンウォルッシュリハビリテーション研究センター
教授

2 「カンボジアの高齢者に関する国家活動計画としての保健医療・福祉行動計画」

Kol Hero

カンボジア保健省予防医療部 部長

3 「地域包括ケア時代に向けた千葉リハビリテーションセンターの取り組み」

吉永 勝訓

千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長

4 「障がい者の加齢と健康維持・増進」

緒方 徹

国立障害者リハビリテーションセンター 病院
障害者健康増進・運動医科学支援センター長

15:50~16:05 休憩

16:05~16:50 ディスカッション、質疑応答

(進行役:山田秀樹 国立障害者リハビリテーションセンター企画統括官)

16:55~17:00 閉会挨拶 飯島 節 国立障害者リハビリテーションセンター
自立支援局長

